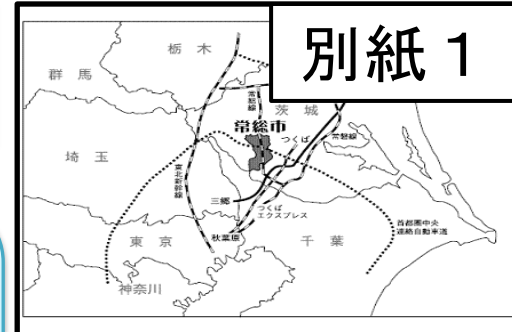


令和3年度 常総市地域公共交通活性化協議会 (茨城県常総市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)



別紙 1

地域の公共交通等の現況

常総市は関東鉄道常総線や民間路線バス(5系統)が運行しているが、いずれも車社会の進展等により利用者が減少し、運行本数の減少や運行区間の廃止が続いている状況にある。当市は可住地面積が広く、集落が散在しているため、自家用自動車保有台数は全国的にも非常に多い。自動車を運転できない市民のため、地域と公共施設、病院等を往来できるような移動手段として無料の福祉循環バスが運行していたが、利用者の減少、受益者負担の見直し、旧市町間の相互乗り入れができなかったことから、合併後の市における公共交通の整備と交通サービスの公平性を図ることを目的とし、地域のニーズに適した持続可能な公共交通体系を構築するため、市民や交通事業者、関係機関で組織する常総市公共交通活性化協議会を設置し、平成21年10月に予約型(デマンド型)乗合交通の運行を開始した。以後、協議会や利用者の意見をもとに改善し、運行を継続している。令和3年3月には地域公共交通計画を策定し、当市にふさわしい公共交通のあり方を協議している。

交通計画の基本方針／地域公共交通に関する施策・取組の概要

「あって安心、使って便利、みんなで支える公共交通～お出かけしやすく暮らしやすいまちづくりのために～」を基本方針とし、「まちづくりに対応した地域公共交通網の構築」「誰もが安心・便利に利用できる公共交通サービスの整備」「みんなで支える公共交通の実現」を目指すこととし、コミュニティバスの新規運行を加えた多様な交通モードの連携・役割分担による公共交通網を構築する。

交通施策として実施した事業の全体像の概要

交通空白地帯を解消し、鉄道や路線バスでは往来が難しい市内の病院・商業施設等へも移動できる手段を確保するため、自宅から目的地まで送迎する交通モードとして「予約型乗合交通ふれあい号」を運行する。

補助対象事業の概要

地域内のフィーダー(支線)交通を確保・維持する取組みとして、市内全域を自由に移動できる手段として、予約型乗合交通を運行し、地域間幹線系統である広域路線バスや関東鉄道常総線に接続させる形で、事前予約型・区域運行の予約型乗合交通ふれあい号を平成21年10月から運行している。

【デマンド交通「予約型乗合交通ふれあい号」】

事業者名: 関鉄タクシー(株)、松並タクシー(有)、(有)三妻タクシー、水海道ハイヤー(有)、石塚タクシー(有)
 運行区域: 常総市内全域
 運行日: 月曜～金曜(土日祝日、お盆8月13日～8月16日、年末年始12月29日～1月3日は運休)
 運行時間帯: 8時00分～17時00分(8時便から16時便の1日9便)
 運行本数: 9便/日
 運行車両: 5台
 運賃: 250円(ただし、3歳未満の子ども、第1種身体・知的障がい及び精神障がい1級の利用者の介添え人1人は無料)

面積	123.64 km ²
人口 (R3.4.1時点)	59,096 人
15歳未満	6,699 人
65歳以上	18,248 人
高齢化率	31.2 %
世帯数	22,422 世帯

交通計画の策定年月日

令和3年3月23日策定

協議会開催状況

(令和3事業年度に係るもの)

- ・R2.7.22(R2第2回協議会)※書面
R3事業年度フィーダー計画を協議
- ・R3.4.26(R3第1回協議会)
利用状況の報告(R2.4～R3.3)
- ・R3.12.21(R3第3回協議会)
利用状況の報告(R3.4～R3.11)
- ・R4.1.21(R3第4回協議会)※書面
事業評価について

前回の事業評価結果の反映状況

地域公共交通計画を策定し、他の交通モードとの役割分担を図った。具体的な連携施策は検討できていない。

タクシー事業者の廃業により、令和2年10月から車両が1台減となったが、予約お断り件数が増加しないように効率的な配車を行った。また、ホームページにて曜日・時間帯別の混雑状況(予約の取りやすさ)を公表し、市民にも効率的な利用を呼びかけた。

福祉部門等と連携し、パンフレットを配布するなど利用促進を行った。

しかしながら、新型コロナウイルスの流行により、利用者の増加とはならなかった。

定量的な目標・効果

【評価指標・目標値】

目標値:1日平均利用者数60.0人

【当該指標・目標値を設定した理由】

目標設定時(R2.7月)の直近3か月(R2.4.1~R2.6.30)の1日あたり平均利用者数 54.9人をもとに設定。

※地域公共交通計画での目標値:1日平均利用者71.0人

令和2年12月に目標値を設定。緊急事態宣言解除後の令和2年6月以降、最も利用者の多かった月を目標値とした。

【効果】

低料金で安全・安心な「予約型乗合交通ふれあい号」を運行することにより、交通不便地域で自動車を運転できない交通弱者の市民(主に高齢者)の移動手段が確保できる。

目標の達成状況・事業によって得られた効果

【指標:目標値】 実績:56.9人(目標値の94.8%)

【目標を達成できなかった要因(分析)】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため利用が控えられたと考えられる。

【効果】

低料金で安全・安心な「予約型乗合交通ふれあい号」を運行することにより、自動車を運転できない交通弱者の市民(主に高齢者)の移動手段が確保できた。

アピールポイント

・市全域で乗降できるため、通院や買い物以外に知人宅への訪問や墓参りなどにも利用されている。

・運転免許証を返納した高齢者に利用券を配布するなど、移動手段に困っている方への利用促進を行っている。

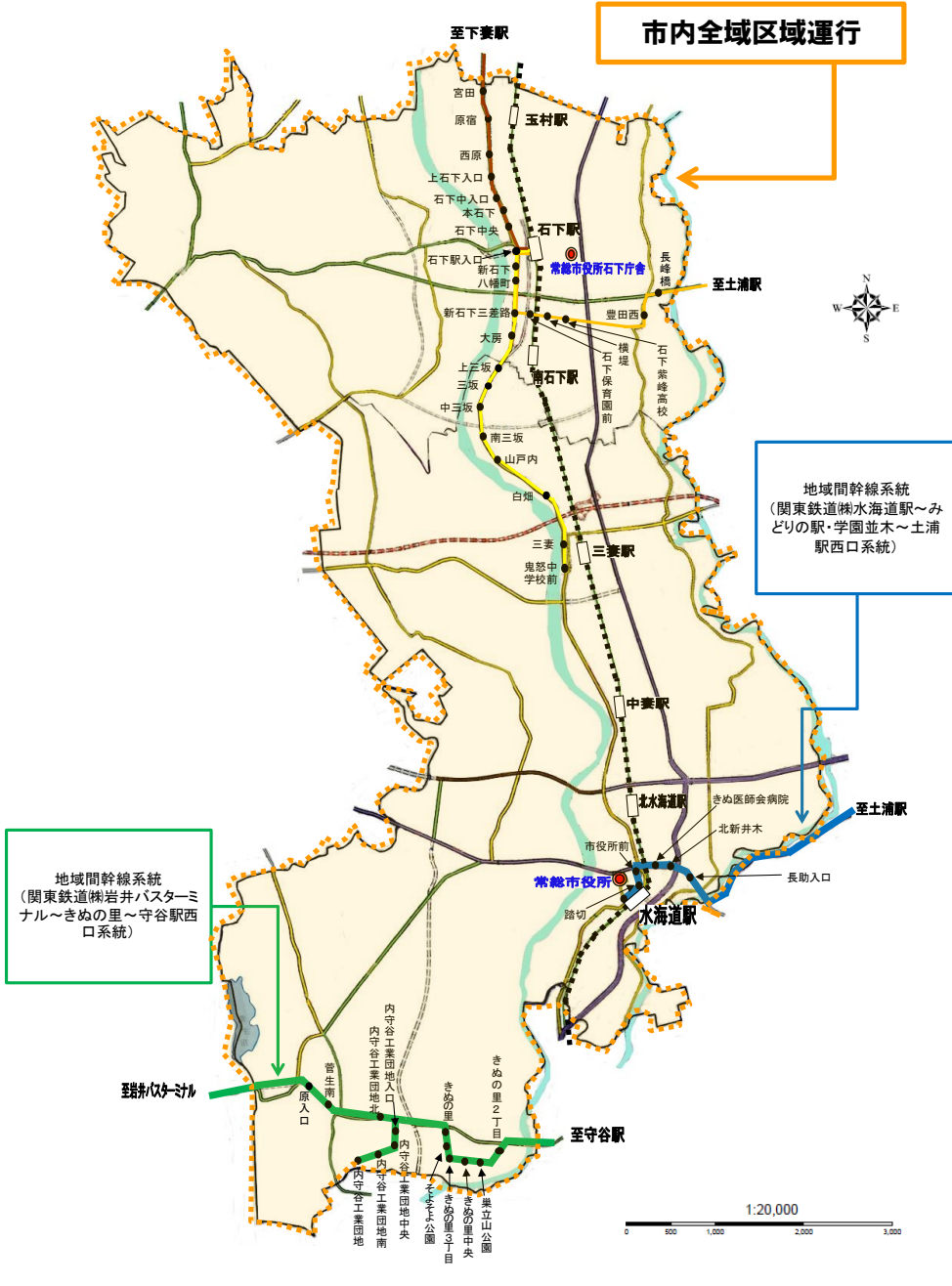
・事業者や運行委託先である社会福祉協議会と密に連絡を取り合い、運行内容を変更する際などは事前に協議を行い、スムーズに事業を行っている。

今後の改善点

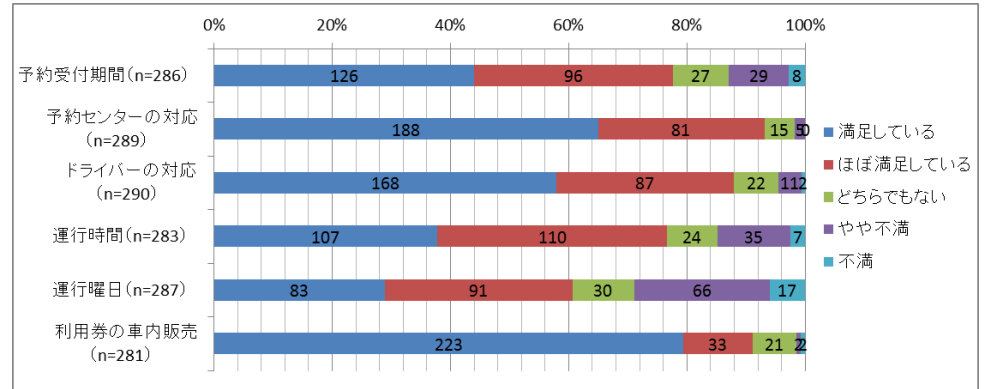
新型コロナウイルスの流行による利用者減が見られるが、利用者からは非常に便利なので運行を続けてほしいという意見が多くあり、ふれあい号を必要としている市民が安心して利用できるように引き続き感染症対策を行い、運行を維持・継続していく。

令和2年度末に策定した地域公共交通計画に基づき、他の交通モードでは対応できないニーズを検証し、交通網の整備を行っていく。

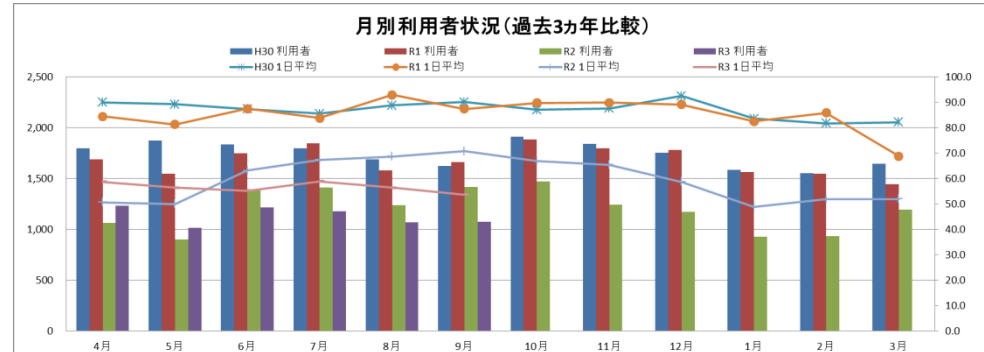
常総市予約型乗合交通運行区域図



【ふれあい号利用者アンケート結果（H30実施）】



【月別利用状況（過去3ヵ年比較）】



【年度別利用状況（4~3月）】

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (4~9月)
運行日数	240日	241日	240日	236日	241日	120日
利用者数	20,239人	19,949人	20,896人	20,075人	14,356人	6,779人
1日平均	84.3人	82.8人	87.1人	85.1人	59.6人	56.5人
新規登録者	223人	279人	319人	423人	207人	110人

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月 日

協議会名: 常総市公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
関鉄タクシー(株)	デマンド交通(常総市内全域)	<p>地域公共交通計画を策定し、他の交通モードとの役割分担を図った。具体的な連携施策は検討できていない。</p> <p>タクシー事業者の廃業により、令和2年10月から車両が1台減となったが、予約お断り件数が増加しないように効率的な配車を行った。また、ホームページにて曜日・時間帯別の混雑状況(予約の取りやすさ)を公表し、市民にも効率的な利用を呼びかけた。</p> <p>福祉部門等と連携し、パンフレットを配布するなど利用促進を行った。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルスの流行により、利用者の増加とはならなかった。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>目標とした1日平均利用者数60.0人に対し、56.9人であり、目標を下回る結果となった。</p>	<p>新型コロナウイルスの流行による利用者減が見られるが、利用者からは非常に便利なので運行を続けてほしいという意見が多くあり、ふれあい号を必要としている市民が安心して利用できるように引き続き感染症対策を行い、運行を維持・継続していく。</p> <p>令和2年度末に策定した地域公共交通計画に基づき、他の交通モードでは対応できないニーズを検証し、交通網の整備を行っていく。</p>
松並タクシー(有)					
(有)三妻タクシー					
水海道ハイヤー(有)					
石塚タクシー(有)					

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月 日

協議会名:	常総市公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	交通空白地帯を解消し、鉄道や路線バスでは往来が難しい市内の病院・商業施設等へも移動できる手段を確保するため、自宅から目的地まで送迎するドアトゥドアのサービスとして「予約型乗合交通ふれあい号」を運行する。